

平成30年度地方創生推進交付金事業に関する効果検証結果(R1.7.19外部組織による検証)

No.	交付金種別	対象事業名	交付金を活用して実施した詳細事業	事業の効果に対するコメント	事業見直しの必要性	実績に対するコメント	数値目標に対するコメント	今後の事業実施について	
1	地方創生推進交付金	奥能登国際芸術祭を活用した地域再生モデル構築事業	<p>■第2回奥能登国際芸術祭開催準備事業 事業費:10,000千円(実績10,000千円) 概要:第2回芸術祭開催準備に係る事業を実施 実施主体:奥能登国際芸術祭実行委員会 支出方法:負担</p>	<p>・定住人口の増加や定期的に訪問する人々の増加には時間を要する。芸術祭を継続的に開催し、芸術祭の間の年のイベントなども定常化することが必要である。芸術祭の後に残るアート作品の増加にもつながり、これらにより珠洲市や奥能登のファンが増加し、定住や高頻度の来訪につながる。事業内容をローリングしながら継続することが重要である。</p> <p>・芸術祭の機運を高めるため、共通ロゴを作成してはどうか。</p>	不要5			継続実施5	
2			<p>■アート作品及びサポーター組織の運営管理 事業費:5,000千円(実績5,000千円) 概要:アート作品及びサポーター組織の運営管理 実施主体:奥能登国際芸術祭実行委員会 支出方法:負担</p>						
3			<p>■滞在交流施設設置運営管理業務 事業費:4,500千円(実績3,206千円) 概要:遊休施設を活用した滞在交流施設設置の運営管理 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p>						<p>・地域経済の活性化に大きく寄与している事業と評価。</p>
5			<p>■珠洲市空き家ホテル開発プロジェクト 事業費:4,698千円(実績4,698千円) 概要:前年度の検討内容を基に具体的な事業計画を立案し、民泊の推進等と併せて空き家の利活用に向けた具体的な取組を実施 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p>						
6			<p>■関連アートプログラムの開催 事業費:4,666千円(実績4,666千円) 概要:芸術祭開催後の常設展示を活かしたイベントや子ども向けワークショップ等、芸術祭に関連するアートプログラムを実施 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p>						

平成30年度地方創生推進交付金事業に関する効果検証結果(R17.19外部組織による検証)

No.	交付金種別	対象事業名	交付金を活用して実施した詳細事業	事業の効果に対するコメント		事業見直しの必要性	実績に対するコメント	数値目標に対するコメント	今後の事業実施について
1	地方創生推進交付金	能登半島の先端にレジリエントな「知」と「共創」のSDGsプラットフォームづくり	<p>■能登SDGsラボの設立運営 事業費:5,000千円(実績5,000千円) 概要:市内の現場サイドに存在する地域課題を解決するためのワンストップ窓口として、地域課題解決のコーディネーション機能と”知”と”共創”のプラットフォーム機能を備えた「能登SDGsラボ」を金沢大学能登学舎内に設置し、ランチとして位置付けられた連携するステークホルダーと共同で運営 実施主体:珠洲市 支出方法:負担</p>	<p>・事業の積極的な展開を期待したい。</p> <p>・能登SDGsラボの活動に期待する。</p>	<p>・奥能登国際芸術祭や世界農業遺産など既存の事業と連携することによって、プラットフォームを活用することが増加すると考えられる。プラットフォームを活用して、珠洲市の特徴である一次産業と二次産業に関連する産業の振興につなげるのが重要である。また、この活動や奥能登国際芸術祭を通して、シビックプライドが醸成されることを期待する。市民意識の高まりにより、移住・定住・交流人口の増加につながる。</p> <p>・継続実施に向けて、効果の積み重ねをアピールできるよう、今後とも各事業間の連携を心がけていただきたい。</p>	不要5			継続実施5